

環境科学科

Vol.8

水田を中心とした生産環境・自然環境の
保全及び生態系の保全に関する基礎的・
基本的な知識・技術を学びます。



環境保全型農業の研修

8月29日に2年環境科学科生徒が兵庫県豊岡市に行き、コウノトリ育む農法について研修してきました。

環境・
作物

環境保全型農業の研修

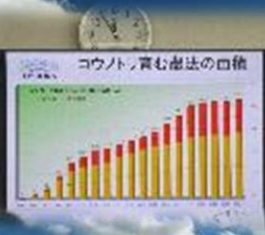
8月29日に環境科学科2年生全員で、兵庫県豊岡市役所の農林水産課の仲田先生、長谷川先生、坪口農事未来研究所の平峰先生から、兵庫県豊岡市で取り組んでいるコウノトリ育む農法について研修に行きました。



豊岡市における 取組概要	
事業実施主体	豊岡市
関係機関	たけなま農産物産出組合 コウノトリ育むお米生産者 豊岡市農林水産課 豊岡市環境教育センター 株式会社アイオーム 豊岡市教育委員会
主な取組予定・時期	・有機農業実施計画策定に向けた検討会（6回程度） ・先遣地視察（9月～12月） ・有機農産物を使用した給食をテーマとしたシンポジウムの開催（11月～1月） ・学校給食にコウノトリ育む農法無農薬米を試行的に提供（1月） ・アプリを活用した生きもの調査の実施（7月～12月）

コウノトリ育む農法	
	無農薬 減農薬
苗づくり	種の消毒 塩素消毒・酢消毒
	殺虫剤 不使用
栽培中	殺虫剤 不使用
	除草剤 使用 75%削減
	生きものを育むために 殺虫剤は不使用

環境保全型農業を産・学・官で実践し「コウノトリ育むお米」のネーミングで販売し、近年では、銀座の百貨店で販売、海外に輸出するなど、積極的に販路を拡大し、環境に配慮した栽培方法で全国より視察研修を受け入れるなど、コウノトリも住めるまちづくり目的とした農法で注目されている地域です。



「コウノトリ育む農法」については、豊岡市役所の会議室で講義を受けました。コウノトリの餌となる水生生物を生息させるために、無農薬・減農薬でお米栽培を行い、田植え後の湛水期間を長くし水生生物が生育できるように「生物多様性」の面からも工夫されていました。



午後からは、豊岡市の現地水田視察をしました。坪口農事未来研究所では、ポット苗でイネを田植えをしたり、水田にソーラーシステムを設置するなど栽培面・経営面で勉強になりました。